

あなたの冬道での転倒体験、教えてください！ ～令和7年度冬期に冬道で転倒した体験を是非お聞かせください～

一般社団法人北海道開発技術センターは、ウインターライフ推進協議会における冬道での歩行者転倒防止啓発活動の一環として、冬道での転倒事故の実態把握を目的としたアンケート調査を実施しています。

1. 概要

積雪寒冷地では冬道での転倒事故が後を絶たず、昨冬の札幌市の転倒事故による救急搬送者数が過去最高を記録するなど、社会問題化している現状にあります。

ウインターライフ推進協議会では産学官の連携のもと、歩行者の冬道での転倒事故防止のために様々な普及啓発活動を進めていますが、転倒した際（発生時）の詳細な情報が欠かさないことから、転倒事故状況に関するアンケート調査を実施しております。調査結果は、より効果的な冬道転倒防止の啓発資料等に活用させていただき予定です。

つきましては、実際に転倒された方の貴重な転倒体験を教えていただきたく、広く皆様へのご周知の程、何卒宜しくお願いいたします。

2. 調査内容

調査対象者： **今冬期**（令和7年11月1日～令和8年3月31日）に **冬道で実際に転倒された方**

調査期間： 令和8年1月21日～**4月30日（木）17時まで**

※回答いただく期間を延長いたしました。

調査内容： 転倒した地域／転倒した場所／転んだ場所の路面状況
・ケガの有無／ケガをした場所／ケガの種類／ケガの程度／救急車搬送の有無
・**ケガによる費用／ケガによる休暇日数 ←今年度に新規追加の設問**
・路面が滑ったかどうか
・転んだ際の行動／転んだ際の歩き方／転んだ際の服装や装備 など

回答方法： 下記の**URL**または**QR**からご回答ください。
<https://forms.gle/UzSsUHJkuiuA15Mw7>

ウインターライフ運営サイト『**転ばないコツおしえます**』のトップページのアンケートバナーからもご確認いただけます。 <https://tsurutsuru.jp/>

★2回以上転倒された方は、各転倒体験についてそれぞれ回答をお願いします。
→1つの体験を入力して送信してから、
2回目以降の転倒体験を入力して送信
をお願いします。

実施主体：（一社）北海道開発技術センター



▲アンケートページのQR

3. お問い合わせ

（一社）北海道開発技術センター
（ウインターライフ推進協議会 事務局）
担当：富田・永田・金田
Tel：011-738-3363
E-mail：tomita@decnet.or.jp（富田真未）

★本年度実施の途中報告として速報版を同報しております。是非ご覧ください。



あなたの冬道での転倒体験、教えてください！

～今冬、冬道で転倒した体験を是非お聞かせください～

(一社)北海道開発技術センターでは、ウインターライフ推進協議会の取り組みの一環として、冬道における歩行者の転倒防止に向けたアンケート調査を実施しています。

近年、積雪寒冷地では冬道での転倒事故が後を絶たず、社会問題となっています。特に札幌市では、昨冬の転倒事故による救急搬送者数は過去最多の1,869人を記録しましたが、今冬は昨冬を上回る2,000人を超えるなど、深刻な状況となっています。

また、こうした転倒事故は九州まで日本各地で発生しており、誰にとっても身近なリスクとなっています。

冬道での転倒は、路面の滑りやすさだけでなく、**歩行者の身体状況や行動**、さらには**転倒に対する意識や備え**など、さまざまな要因が関係していると考えられます。事前に「どのような場面で転びやすいのか」を知ることは、ケガを防ぐための大切な備えにつながります。

本調査では、**実際に転倒を経験された方の声**をもとに「いつ・どこで・どのように転倒したのか」といった実態を把握し、今後の効果的な転倒防止対策の検討に役立てていきます。

なお、調査結果は、冬道における安全対策や啓発資料の作成に活用させていただく予定です。

厳しかった冬ももうすぐ終わりますが、昨年11月からの冬を振り返り、もし冬道で転倒された方がいましたら、その時の状況を思い出しながら、思い出せる範囲で構いませんので、ぜひアンケートにご協力ください。



アンケート調査概要

調査対象： **今冬期** (令和7年11月1日～令和8年3月31日) に **冬道で実際に転倒された方**

調査期間： 令和8年1月21日～**4月30日(木) 17時まで**

調査内容： ・転倒した地域/転倒した場所/転んだ場所の路面状況
 ・ケガの有無/ケガをした場所/ケガの種類と程度/救急車搬送の有無
 ・ケガによる費用/ケガによる休職日数
 ・路面が滑ったかどうか
 ・転んだ際の行動/転んだ際の歩き方/転んだ際の服装や装備 など

回答方法： ●右のQRからご回答いただけます。
 ●ウインターライフ運営サイト『**転ばないコツおしえます**』のトップページのバナーサイトからもご回答いただけます。



▲アンケートページのQR



▲サイトのTOP画面



ツルツル ドット ジェビー

tsurutsuru.jp

実施主体： (一社)北海道開発技術センター

協力： ウィンターライフ推進協議会

★実施中間報告(令和8年3月16日9時)をまとめたものを本紙の裏面に掲載しております。是非ご覧ください。

★皆さまの体験が、事故防止につながる大切な一步となります★

回答は冬道で転倒した方となりますが、周辺皆様へのアンケートご協力の周知も是非、お願いいたします。

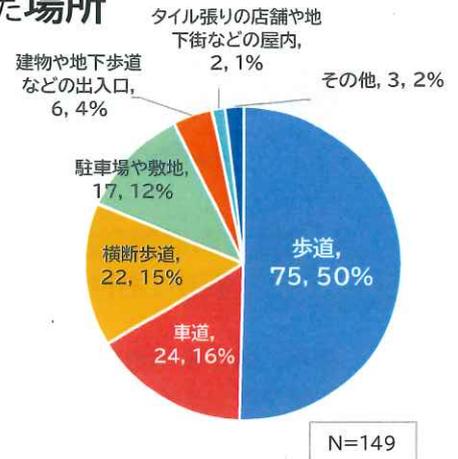
冬道での転倒体験アンケート・令和7年度冬期 【途中集計速報版】

★令和8年3月16日（月）9時まで回答の集計結果（速報）です。

■回答数 **149件**（うち、男性80件／女性69件）

■居住地 北海道 140件、道外9件

■転倒した場所



■転んでケガをしたか？

※擦り傷・切り傷や軽い打撲もケガの対象

N=149



●約4割の人が転倒してケガに繋がっている。

■「ケガをした」の回答のうち

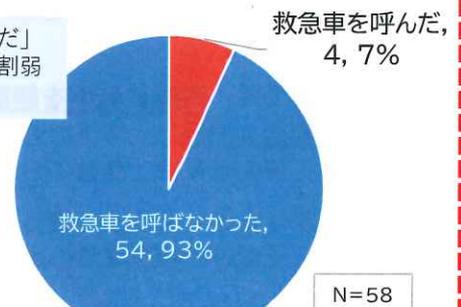
■ケガの種類（複数回答）



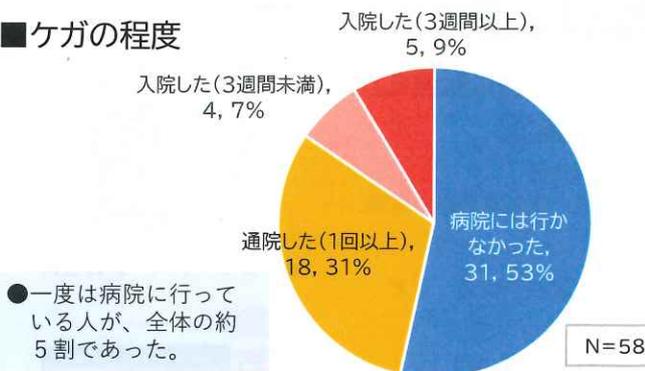
●「打撲」が最も多く、次いで「骨折」が多い。

■転倒した際に救急車を呼んだか

●「救急車を呼んだ」への回答は約1割弱であった。



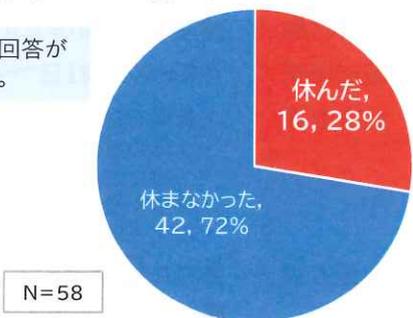
■ケガの程度



●一度は病院に行っている人が、全体の約5割であった。

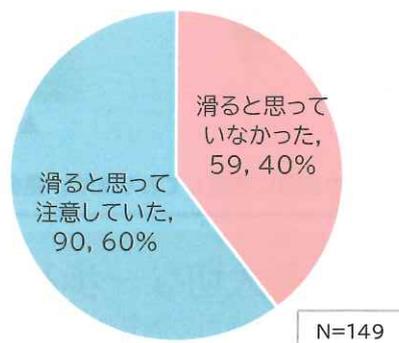
■仕事・学校・家事などを休んだか

●「休んだ」への回答が約3割であった。



■転んだ時の意識

●「滑ると思って注意していた」人でも、約6割の人が転倒している。



■転んだ時の歩き方

●雪道にあった歩き方を意識していても転倒している人が、約6割であった。

